BOSE®

OWNER'S MANUAL

モービル・パワー・アンプ

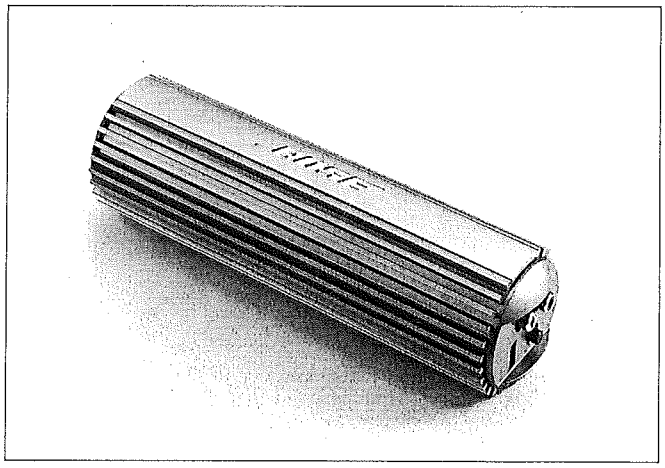
B-2060

このたびはボーズの車載用パワーアンプB-2060をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。本機を正しく、また性能を十分いかしてお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでも必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

目次

安全上の留意項目 ……2
特長 ……4
開梱時のご注意 ……4
各部の名称 ……5
取付について ……6
接続について ……6
　ローレベルインプット ……7
　ハイレベルインプット ……8
システムの調整について ……9
故障？と思われるとき ……10
寸法図 ……11
仕様 ……11
保証 ……11

B-2060 取扱説明書



安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

△記号は警告・注意を促す内容を告げるものです。

⚠警告

- ●カーオーディオ製品は、運転の妨げにならない場所に確実に取り付けてください。
- ●本機はDC12V-アース車専用です。大型トラックや寒冷仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。
  火災などの原因となります。
- ●必ず、バッテリーのマイナス端子を外してから取り付け・配線を行ってください。
  ショート事故により、火災が起こるおそれがあります。
- ●事故防止のため、小物類（電池・ねじ等）は幼児の手の届かないところに保管してください。
  お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ●配線および取り付けは必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
  配線、取り付けを間違えますと、火災、その他の事故の原因になります。
- ●アンプのアースを取るときなど取付作業に際して、車体のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火または事故の原因となります。
- ●コード類は、取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。
  ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。
- ●電源リード線の被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対におやめください。
  リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。
- ●本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。
  規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。

⚠警告

- ●カーオーディオ製品取付終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。
- ●車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被膜が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。
- ●車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。
- ●万一異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- ●車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
  コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。
- ●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

⚠注意

- ●必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。
- ●本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
  通風孔や放熱版をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- ●本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
- ●不安定なところや振動が多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避けてください。
  外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- ●車体やねじの部分・シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
  断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。
- ●アンプの使用中は、放熱器に触れないでください。

特　長

小音量時から大音量時まで自然な音響バランスを実現するPAP回路

人間の耳は音量が小さくなるにしたがって、周波数によって聞こえにくくなる帯域があります。このため大きな音では自然に聞こえる再生音も、小音量になると周波数ごとのバランスがくずれ、もの足りない音になってしまいます。そんな人間の聴覚を研究し、どんな再生レベルでも聴感上もっとも自然な周波数バランスに聞こえるよう、常に自動的にコントロールします。ロードノイズに隠れてしまうような中・低域もしっかりと再生します。

電源部へのノイズの飛び込みを抑えるグラウンド・アイソレーション回路採用

電源部、信号回路のグラウンドを完全に分離し、平衡（バランス）入力となるグラウンド・アイソレーション回路を採用。イグニションノイズやオルタネーター等、電源系から混入する音質に悪い影響を与えるノイズ成分をシャットアウトします。

放熱効果を追及したユニークなキャビネットデザイン

円柱に放熱用のフィンを配したユニークなデザインのキャビネットは、アルミ押し出しによりシャーシとボディを一体化。放熱効果はもちろん外部からの振動にも強く、高い剛性を実現しています。

ヘッドユニットの交換できない純正オーディオにも取付可能なハイレベルインプット装備

オーディオアウトのない純正カーオーディオにも取付が可能なハイレベルインプット機能を装備しています。

アンプやスピーカーの破損を防ぐ、5種類の保護回路

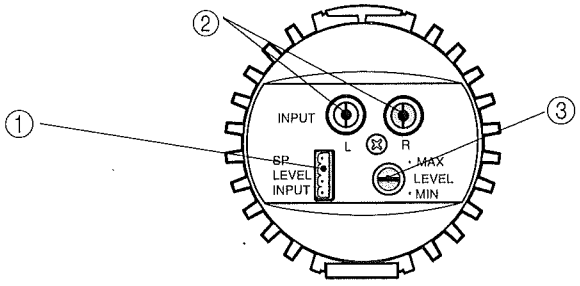
スピーカー端子のショート、異常電圧、過電流、電源の ⊕、⊖ の逆接続と、アンプの温度上昇など、誤配線やアクシデントからアンプやスピーカーの破損を防止するプロテクション回路を装備しています。

開梱時のご注意

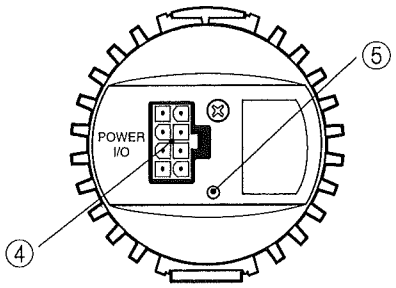
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお近くの販売店か取次店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

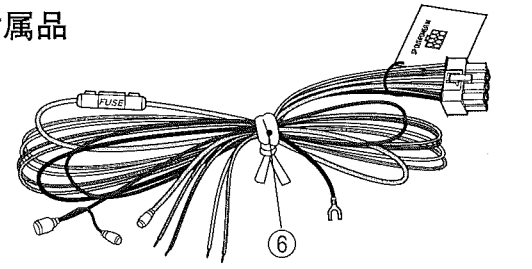
◆入力側パネル◆

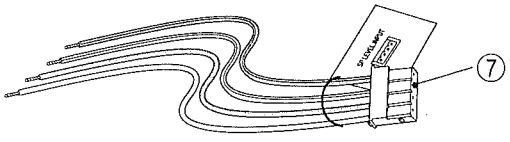


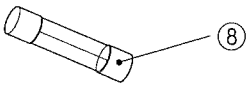
◆電源入力、スピーカー出力端子側パネル◆



●付属品







① SPレベル信号入力端子[※1]

専用4ピン入力ジャックです。ヘッドユニットの内蔵パワーアンプのスピーカー出力コードに接続します。この端子に接続できるパワーアンプの出力は25W位までのものです（それより大きなパワーアンプの出力を接続しますと音割れや歪の原因になります）。

② 信号入力端子[※1]

RCAピンジャックです。ヘッドユニットからのローレベルの信号をR（右チャンネル／赤）、L（左チャンネル／白）それぞれに入力します。

③ LEVEL（入力レベル調節ボリューム）

入力する信号の大きさを調節します。時計方向に回すと音量が上がります（マイナスドライバーで調節します）。

④ 電源入力、スピーカー出力コネクター

電源・スピーカーケーブルを接続します。

⑤ パワーインジゲーター

電源が入ると赤のランプが点灯します。

⑥ 電源・スピーカーケーブル

電源に接続するためのケーブルと、スピーカーに接続するためのケーブルです。ケーブルの内容は、
青…リモート（分配用端子付）[※2]
黒…GND(アース)
黄…BATT(常時 ⊕12V) ヒューズ 8A付
グレー/黒線…Rch ⊖
グレー ……Rch ⊕
白/黒線……Lch ⊖
白 ……Lch ⊕

⑦ SPレベルインプット用ケーブル

ハイレベルインプットで使用するときに使用します。ケーブルの内容は、
グレー/黒線…Rch ⊖
グレー ……Rch ⊕
白/黒線……Lch ⊖
白 ……Lch ⊕

⑧ 予備ヒューズ

8Aのガラス管ヒューズです。

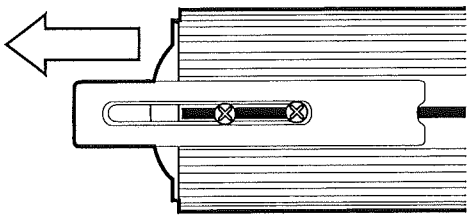
※1：SPレベル信号入力とRCAピンによる信号入力は同時に使用できません。
※2：すでにリモート端子が使われている場合は、このケーブルの分配用の端子を使ってリモートの信号を必要とする機器に分配して下さい。

取り付けについて

本機の取り付けは専門のカーショップにご依頼されるようお勧めいたします。もし、ご自分で取り付けを行なう場合には、必ず本説明書にしたがって作業をお進めください。

① 図のようにプレートを固定している2本のネジを緩め、プレートを引きだします。再び2本のネジを締めてプレートを固定します。

② プレートの部分をネジ※等を使用して車室内に固定します。

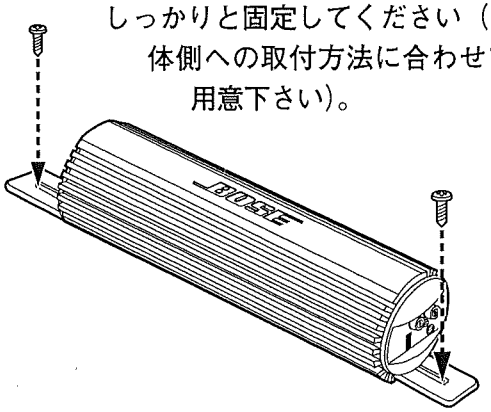


⚠ 注意

本機を設置する場合、次のような場所には設置しないでください。性能の劣化や故障の原因となります。

- ●エンジンルーム内
- ●直射日光が当たる場所
- ●ヒーターのダクト近く
- ●湿気や水分のあるところ。
- ●雨水などがかかるところ。

※アンプ本体を固定する際は、不安定な場所は避け、しっかりと固定してください（ネジは車体側への取付方法に合わせて別途ご用意下さい）。



接続について

●金属部に配線を通す場合には、ショートを防止するためにゴム製グロメット等を使用することをお勧めいたします。

●ショート事故防止のために配線作業は必ずカーバッテリーの⊖側端子のコードを外した状態で行なってください。

電源系の配線

●電源・スピーカーケーブルのBATTケーブル(黄色）を常時⊕12V※が取れる端子あるいはバッテリーの⊕端子に接続します。

●GNDケーブル（黒色）と車体の金属部分の確実にアースにつながっている部分に接続します。

⚠ 注意

※電源を取ろうとする車側ハーネスに接続されている機器と本機の最大消費電流の合計が、ハーネスのヒューズの容量を越えていないことを確認してください。容量がたりないと車側のヒューズが切れたり、配線が発熱し火災の原因となることがあります。

リモート(青色ケーブル）の接続

本機の電源のON／OFFを行なうための端子です。
この端子に⊕12Vがかかっている間、本機の電源がONになります。

●電源・スピーカーケーブルのリモートケーブル(青色）をヘッドユニットのリモート出力と接続します。ヘッドユニットにリモート出力がない場合には車体のACC端子などをご利用ください。

⚠ 注意

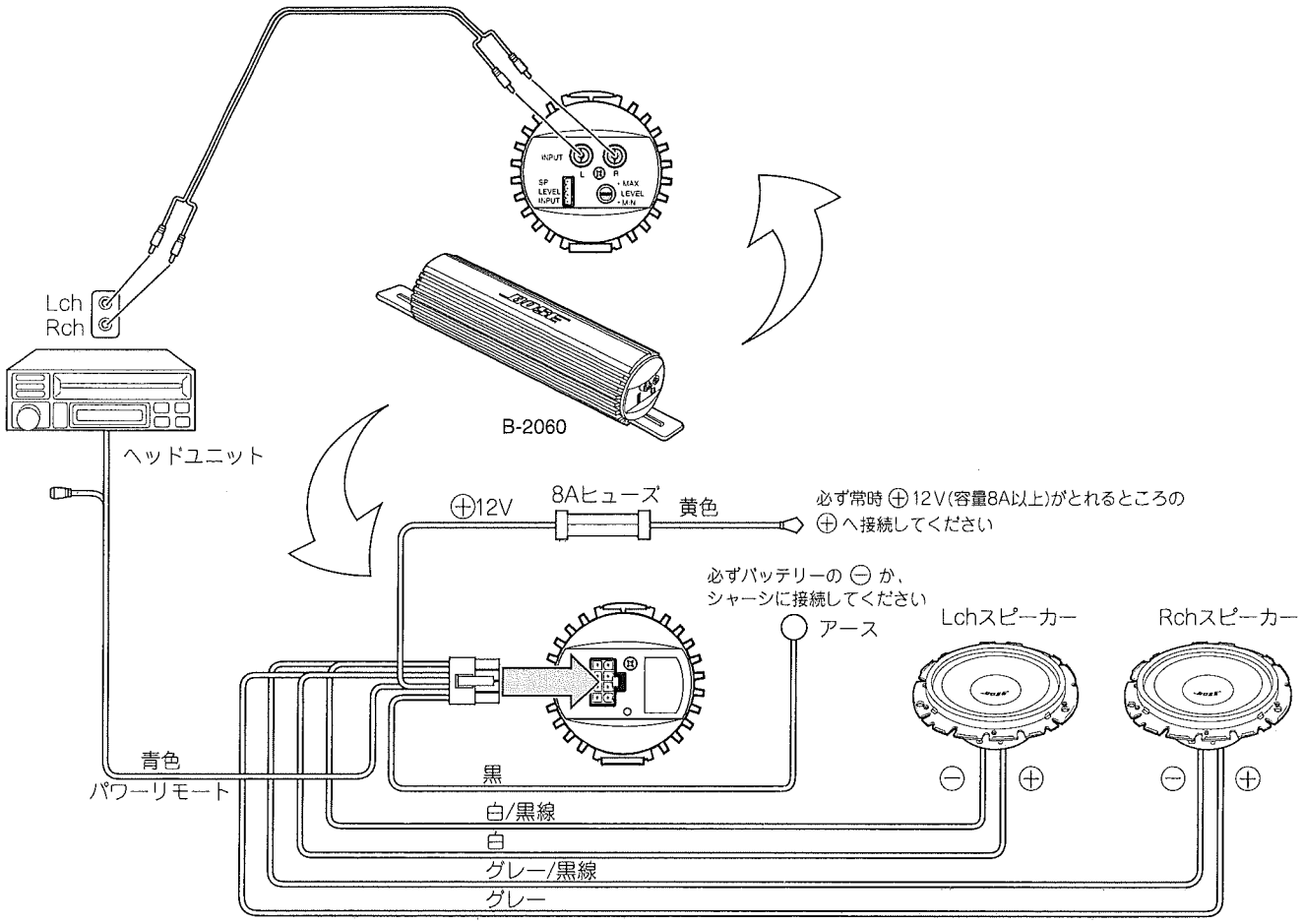
この端子に常時⊕12Vをかけますと、本機の電源が切れなくなり、バッテリー上がりなどの原因になります。

◆ローレベルインプット(RCAピンケーブルで信号を入力する場合)◆

① ヘッドユニットにRCAピンジャックによる信号出力端子がある場合、RCAピンケーブルを使用してヘッドユニットとアンプを接続します。

② 電源・スピーカーケーブルのスピーカーケーブルをスピーカーに接続します。この際、アンプのL（左チャンネル）/R（右チャンネル）とスピーカーのL/R、⊕/⊖の極性を十分確認して接続してください。

※極性（⊕,⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり、低音が出なくなったりします。
また本機スピーカー端子の⊖側は絶対に共通にしないでください。アンプの故障の原因になります。

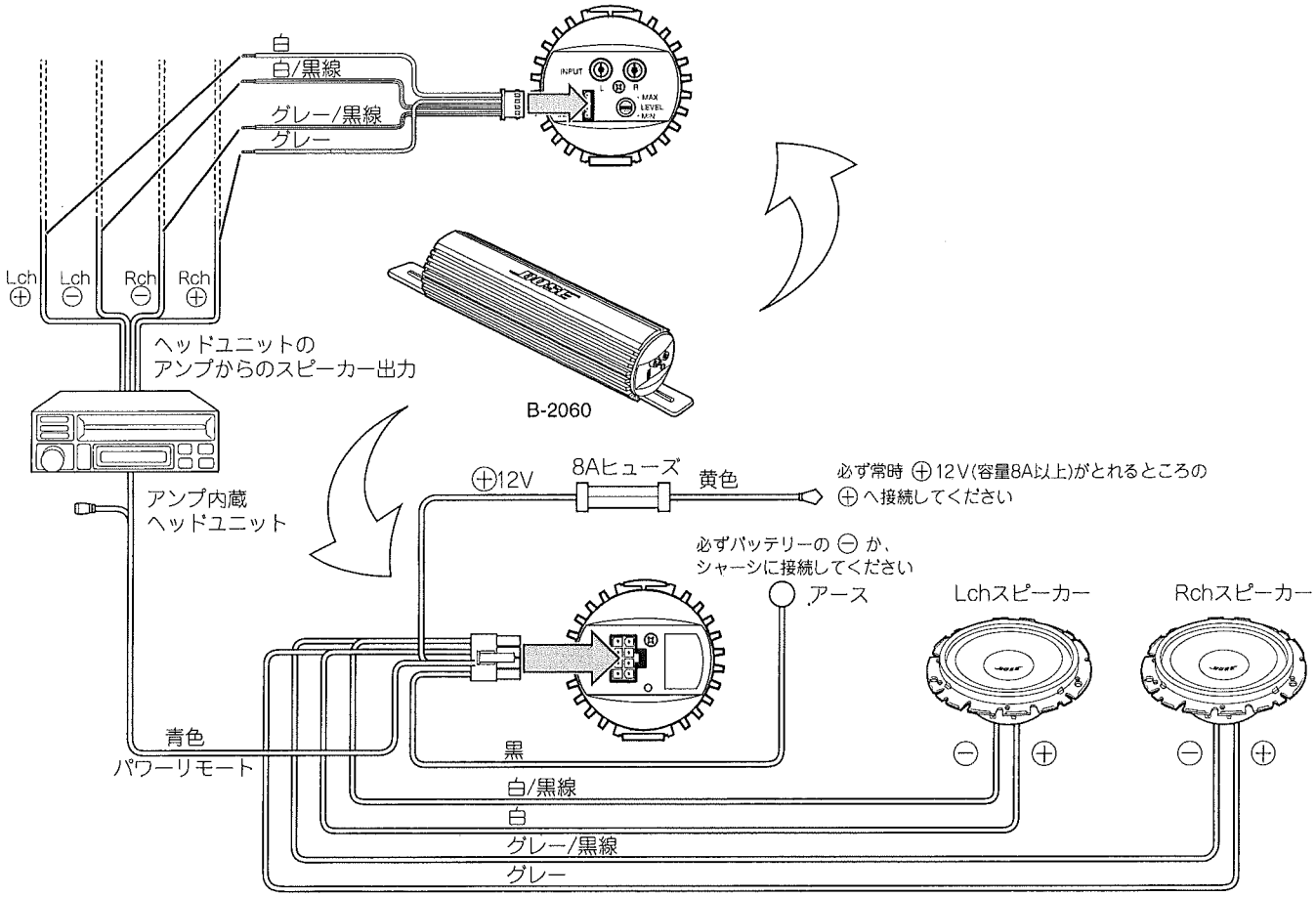


◆ハイレベルインプット(ヘッドユニット内蔵アンプなどのスピーカー出力から信号を取る場合)◆

① ヘッドユニットにRCAピンジャックによる信号出力端子がない場合、ヘッドユニット内蔵アンプのスピーカー出力から信号を取ります。

② SP レベルインプット用ケーブルをヘッドユニットのスピーカー出力コードに接続します。この際、ヘッドユニット内蔵アンプのL（左チャンネル）の⊕/⊖、R（右チャンネル）の⊕/⊖とSPレベル入力用ケーブルのL/R、⊕/⊖の極性を十分確認して接続してください。

※極性（⊕,⊖）を間違えますと、音の定位がフラついたり、低音が出なくなったりします。
また本機スピーカー端子の⊖側は絶対に共通にしないでください。アンプの故障の原因になります。



システム調整について

システムの調整を行なう前に再度接続を確認してください。すべてのネジ類、接続コード類が確実に装着されているか、確認してください。装着が完全なことが確認できたら、作業を行なう前に外しておいたバッテリーの⊖端子を元の状態に戻し、車のキーを“ACC”（もしくはON）の状態にします。

音量の調節（○数字は各部の名称をご参照ください）

1. 本機のLEVEL（入力レベル調整ボリューム）③を含むすべてのシステムのボリュームを最小またはMINの状態にします。

2. ヘッドユニットのスイッチをONにします。この時バランスとフェーダーコントロールは中央の位置にあわせておきます。

3. 本機のパワーインジケーター⑤が赤色に点灯しているか、確認します。

4. ヘッドユニットのボリュームをゆっくりと上げていき、左右のスピーカーから音が正常に再生されているかを確認します。

5. 正常に再生されていることが確認できたら、次にヘッドユニットのボリュームを60%程度まで上げ、本機のLEVEL（入力レベル調整ボリューム）③を徐々に上げていき、スピーカーから再生される音が歪まず、かつ十分な音量が得られる位置に設定します。

※LEVEL（入力レベル調整ボリューム）を少し上げただけで再生音が歪んでしまう場合は、ヘッドユニットのボリュームを低めに設定してください。

6. 音量の調整が終了したら、ヘッドユニットの電源をOFFにするか、車のイグニションスイッチをOFFにしたときに本機のパワーインジケーター⑤が消灯し、電源がきれることを確認してください。

故障？と思われる時　サービスをご依頼になる前にチェックしてみてください

症　　状	原　　因	対　　策
音がでない（パワーインジケーターが点灯しない）	バッテリー（BATT）、グラウンド（GND）、リモート（REMOTE）が正しく接続されていない ヒューズが溶断している	接続を確認する バッテリー（BATT）、グラウンド（GND）が逆に接続されている可能性があるので確認する
音がでない（パワーインジケーターが点灯する）	ピンジャック及びスピーカーコードの接続が不完全 保護回路が働いている	接続を確認する スピーカーコードの⊕／⊖がショートしていないか確認する
突然音がでなくなった （本機に触れると異常に発熱している）	保護回路が働いている	長時間過大な音量で使用しない （本機の温度が下がると自動的に復帰します）
音が小さい	入力レベルボリュームが最小になっている	ボリュームを調整する
低音が損なわれた再生音で音像が定まらない	L,Rいずれのスピーカーコードが⊕／⊖逆に接続されている	スピーカーコードの⊕／⊖を正しく接続する
ノイズがでる	ピンコードの接続が不完全. ピンコードの不良 グラウンドの不良	ピンコードをしっかりと差し込む ピンコードを交換する アース線とアースポイントを再検討する

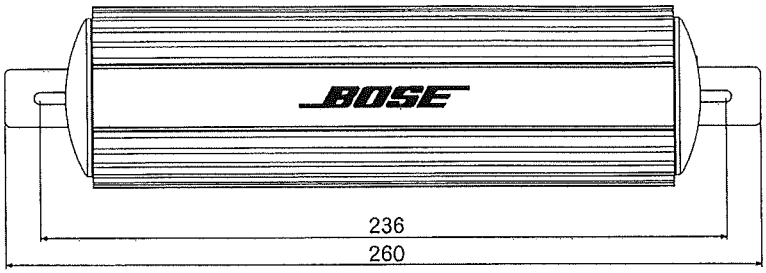
製品の修理についてのお問い合わせ先

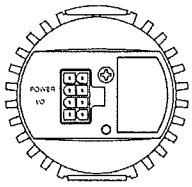
ご使用になっていて修理が必要になった場合のお問い合わせは、ボーズ株式会社下記電話番号までご連絡ください。

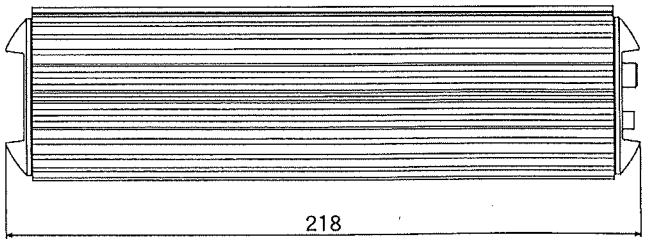
修理担当部門

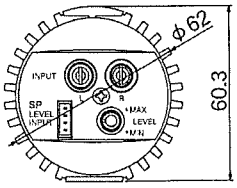
2004年11月に移転になっております。
ボーズ・サービスセンター株式会社
修理部門　042-357-5250
パーツ部門　042-357-5260
〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

寸法図









仕　様

適合負荷インピーダンス	ステレオ時２Ω以上
定格出力	22W+22W（両チャンネル駆動，４Ω，1kHz，1%THD）
	33W+33W（両チャンネル駆動，２Ω，1kHz，1%THD）
SN比	90dB以上（IHF-A）
全高調波歪率	0.08%以下（両チャンネル駆動，４Ω，1kHz，15W時）
入力感度	ローレベル入力：250mV-2V
	ハイレベル入力：2V-5V
電源	直流⊕12Ｖ，マイナスアース専用
最大消費電流	８A
サイズ	220(W)×60(H)×60(D)mm
重量	850g
付属品	スペアヒューズ（８A）1本
	電源・スピーカーケーブル
	SPレベルインプット用ケーブル

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。